

2026年度 SSI（総探）

【第13回】

検証結果を分析して結論を導こう



2026年9月8日（火）



本日の活動

STEP1	研究テーマを決める	4月
STEP2	リサーチクエスチョンを導く	5月
STEP3	仮説を立てる	6月 7月
STEP4	適切な研究方法を選ぶ	
中間目標	研究計画書を作成する	7月
STEP5	調査・実験を実施する	9月
STEP6	結果をまとめて考察し、結論を導く	
STEP7	研究内容をまとめ、発表する	9月

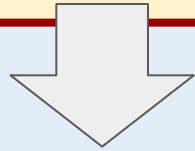
前期プレ探究の
Goalへ



ここの部分

仮説の検証に向けて

全チーム 今後の**仮説検証の方針**を定めて計画・実施へ



(主に下記3つの方針)

◆ 文献研究のみのチーム

→ 追加の文献調査計画作成 → 文献調査継続

◆ インタビュー調査を実施予定のチーム

→ インタビューの企画立案 対象・内容・実施時期

◆ アンケート調査を実施予定のチーム

→ アンケート作成(アンケート項目の作成→後述)



本日の活動内容

目標

研究報告書 の完成

(5) 研究結果

文献調査・インタビュー・アンケートの結果
得られた事実の要約・整理

(6) 考察・結論

(5)の事実をもとに、それを解釈し、
分かったことや分からなかったことを
述べる。

(7) 今後の展望

(6)の結論を踏まえ今後の展望を述べる。

(5) 研究結果

(研究方法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめます)

(6) 考察・結論

(研究結果のデータに、考察・分析をくわえ、リサーチエスジョンに照らして、分かったことや分からなかったことをまとめます。)

(7) 今後の展望

(今回の研究計画による結論をふまえて、次に明らかにしたい新たなリサーチエスジョンや、次に行いたい研究内容を書きます)

【Step6】研究結果 → 考察・結論

自分たちのリサーチクエスチョンに対し、研究を通して得られた結論をまとめる。

(5) 研究結果

文献調査・インタビュー・アンケートの結果得られた事実の要約・整理

(6) 考察・結論

(5)の事実をもとに、それを解釈し、何が分かった・分からなかったのかを述べる。

(5) 研究結果

(研究方法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめます)

(6) 考察・結論

(研究結果のデータに、考察・分析をくわえ、リサーチクエスチョンに照らして、分かったことや分からなかったことをまとめます。)

研究報告書 (5)(6)部分

イロイ フォントの選択

(今回の研究計画による結論をふまえて、次に明らかにしたい新たなリサーチクエスチョンや、次に行いたい研究内容を書きます)

【Step7】今後の展望

今回の研究計画による結論をふまえ、
今後の展望を述べる。

○ リサーチクエストンに対して 一定の結論が得られたチーム

→ 次に明らかにしたい

新たなリサーチクエストンを導出

● リサーチクエストンに対して 一定の結論が得られなかったチーム

→ 仮説検証の方針の再考

リサーチクエストンの再設定

(5) 研究結果

(研究手法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめます)

(6) 考察・結論

(研究結果のデータに、考察・分析をくわえ、リサーチクエストンに照らして、分かったことや分からなかったことをまとめます。)

研究報告書 (7)部分

(7) 今後の展望

(今回の研究計画による結論をふまえ、次に明らかにしたい新たなリサーチクエストンや、次に行いたい研究内容を書きます。)

プレ探究計画書兼報告書の提出

現在の保存先に完成させた状態でそのまま保存しておいてください。

9月28日(月)23:59時点のものを「最終成果物」とみなします。

… > 高校47期SSI > 100.1組教室 ▾

ドキュメント ▾ × ユーザー ▾ 最終更新 ▾ ソース ▾ フィルタをクリア

名前 ↑

101プレ研究計画書兼報…

102プレ研究計画書兼報…

103プレ研究計画書兼報…

104プレ研究計画書兼報…

105プレ研究計画書兼報…

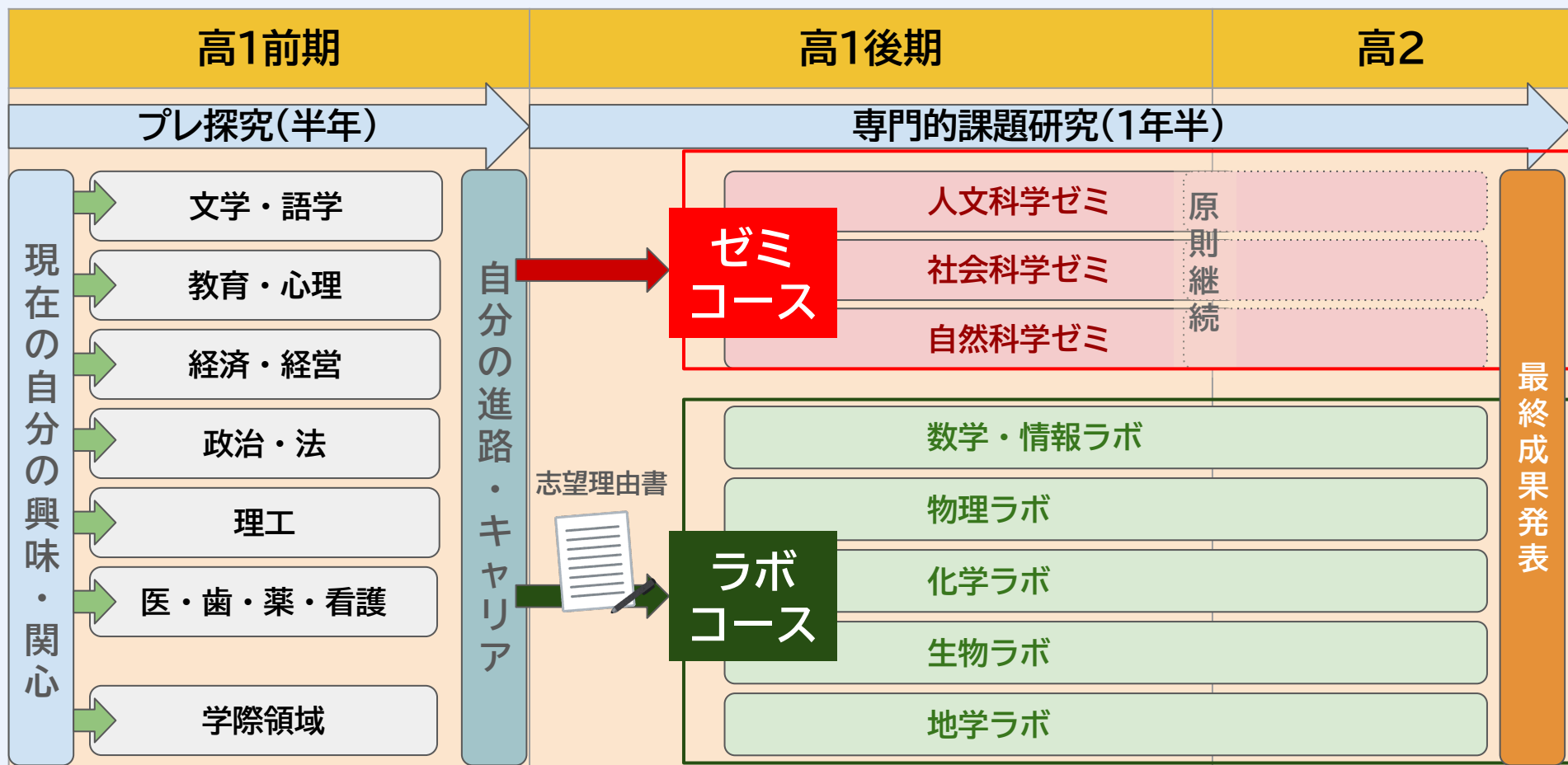
106プレ研究計画書兼報…

107プレ研究計画書兼報…

108プレ研究計画書兼報…

109プレ研究計画書兼報…

プレ探究から専門的課題研究へ



2026年度 専門的課題研究テーマ決定まで

7/14	SS I 授業⑪ 専門的課題研究 概要説明 SS I 担当教員一覧を配信 ★研究分野事前調査フォーム(第1次)配信 → 8/26 締切	
9/1 9/8	SS I 授業⑫⑬ 授業時間内の研究室訪問も可 ※理科4分野希望生徒 → 研究室訪問 (9/1放課後～9/15) 必須	
9/15	SS I 授業⑭ 前期SS I 最終授業 授業時間内の研究室訪問も可 ★研究分野本登録フォーム(第2次)配信 → 9/18 締切	
9/19	理科分野希望者対象「テーマ選定のための合同相談会」 理科4分野希望の生徒 → 1教室(場所未定)に集まり、仮チーム編成	
	★理科分野最終登録フォーム(第3次)配信 → 10/1 締切 理科4分野希望の生徒 → 志望理由書(ラボコース希望者)	
10/13	後期初回 チーム決定・研究テーマ設定	

研究室訪問

理科4分野の研究希望者

9月1日～15日の期間に、
自分の研究したい分野の先生を
訪ねて、相談に行く。

❖ 9/1・8・15の授業時間内の
研究室訪問も可

予備調査の回答結果を
「希望研究テーマシート」として
プリントアウトし、配布
→これを持参して訪問を行う。

2025 年度 SS I 専門的課題研究 希望研究テーマシート

組番	氏名	チーム
研究したい 内容	エネルギーに関わる研究をしたい。 特に、ニッケルカドミウム電池やニッケル水素電池などの二次電池で起こるメモリー効果の原理について。	
希望配属先	02. 物理ラボ, 03. 化学ラボ	
【志望理由】 以前科学雑誌 Newton を読んだ際に、ニッケルコバルト電池やニッケル水素電池にはメモリー効果という電池の電圧が下がる現象が起こるということ知った。また、その発生する原因は明確でないということも書いてあった。 メモリー効果について調べると、この原理を解明することは電池の長寿命化や、発熱等による事故・故障のリスク低減につながるということがわかった。また、劣化による電池交換の回数が減ることで廃棄物の削減といった環境保全にもつながると思いました。 以上のことから私はメモリー効果について研究したいと思いました。		

2025年度 SS I 研究室訪問メモ用紙

訪問日時	9 月 日 ()	訪問先	先生
メモ			

次回の予定

次回 → 9月15日(火) 6限

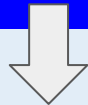
前期プレ探究 《 最終回 》

研究報告書 (7)部分

(7) 今後の展望

(今回の研究計画による結論をふまえて、次に明らかにしたい新たなリサーチエスチョンや、次に行いたい研究内容を書きます)

前期プレ探究のGoal



高1後期 ~ 専門的課題研究へ

STEP1

研究テーマを決める

STEP2

リサーチエスチョンを導く

STEP3

仮説を立てる

STEP4

適切な研究方法を選ぶ

中間目標

研究計画書を作成する

STEP5

調査・実験を実施する

STEP6

結果をまとめて考察し、結論を導く

STEP7

研究内容をまとめ、発表する